

NHK と NEXCO 東日本が「災害発生時の連携協定」を締結

日本放送協会(NHK)と東日本高速道路株式会社(NEXCO 東日本)は、本日、相互の連携を強化し、災害時における迅速な取材活動の展開や、高速道路の被害状況および復旧情報を速やかに提供することを目的として、「東日本高速道路株式会社と日本放送協会との災害発生時の連携に関する協定」を取り交わしました(調印者:日本放送協会 報道局長 二瓶 泰明、東日本高速道路株式会社 代表取締役社長 由木 文彦)。

地震などの大規模災害時には、高速道路が通行止めになることで、取材現場である被災地へのアクセスに時間を要するという課題がありました。本協定により、調整のうえ、緊急車両が高速道路の通行止め区間内を走行可能になるため、取材現場への到達時間を短縮でき、迅速な災害報道に繋がることが期待されます。また、災害時においても、両者間で迅速かつ綿密な情報連携が可能となることから、高速道路情報の発信のさらなる強化にもつながるものと考えています。

NHK は、外部連携の強化などによって、「命と暮らしを守る」報道を支える強じんなネットワーク作りを進めています。本協定も、この取り組みの一環です。

NEXCO 東日本は、「安全・安心・快適・便利な高速道路サービスをお届けすること」を社会的使命としています。本協定を通じて、災害対応力の向上を目指してまいります。

【想定される具体的な協力】

▽災害発生時

- ①NEXCO 東日本が管理する高速道路の通行止め区間で、災害報道等のために NHK が利用する車両の通行に関する調整、協力
- ②NHK の車両が移動中に発見した高速道路の被害状況に関する情報提供
- ③NEXCO 東日本が管理する高速道路の通行止め区間及び被害・復旧状況に関する NHK への情報提供と放送等を通じた地域住民への情報提供

▽平常時

災害対応力向上に資する活動や情報交換、訓練などの実施